



CONTENTS

広報委員会公認マスコットキャラクター	01
2023年度新任教員紹介	02
2023年度地域貢献だより	03
のぞいてみよう!看護大学	05
国際交流	07
オープンキャンパス	09
看大祭	11
学生の活動	12
行事予定/寄付者一覧	14
かせかけとは/大学連絡先	裏表紙

OKINAWA PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

かせかけ

沖縄県立看護大学広報誌



大学広報委員会マスコットキャラクター
わかば
若羽ちゃん

広報委員会公認 マスコットキャラクター



沖縄県立看護大学は、2023年度（令和5年度）に創立25周年を迎え、さらに公立大学法人の新たな体制になって2周年を迎えました。そこで、大学広報委員会では、ますます大学の知名度を高めて、30周年、40周年へと時代とともに進化していけるよう「広報活動の役割を担ってくれる大学広報委員のメンバー的な存在のマスコットキャラクター」を誕生させたいと、学生・大学院生・教職員を対象にマスコットキャラクターを募集しました。そして、ついに初の大学広報委員会マスコットキャラクターが誕生しました。

祝！誕生 大学広報委員会マスコットキャラクター「若羽ちゃん^{わかば} 制作者：4年次 当銘 穂佳さん」。

大学広報誌「かせかけ」やオープンキャンパス案内リーフレットなどで、大学広報委員メンバーの一員となって大学を盛り上げてもらいます。みなさんよろしくお祈いします。

コンセプト

沖縄県立看護大学のキャラクターという1番に頭に浮かんだのは、看護大学に通う学生の姿でした。看護師・保健師・助産師の卵として学ぶ学生の姿をみんなにも知って欲しい、このキャラクターを見て楽しんでもらえる人が増えたらいいなと思い描きました。

デザイン

沖縄県立看護大学は花壇や広場の緑が綺麗で自然に囲まれる雰囲気が魅力だと思いました。また、看護学生ひいては大学院生にとっての学び舎でもあるので、どんな花も咲かすことのできる若葉をモチーフとした髪型としました。看護学生のイメージとして、耳当てに聴診器を、胸には心臓（ハート）と描きました。天使の羽は、毎日学食でお世話になっている、食堂エンジェルの名前をとって描きました。

名前

名前は若葉の若、天使の羽からとり、可愛いと思ってもらえるように、「若羽（わかば）ちゃん」としました。

大学広報委員会 マスコットキャラクター

わかば
若羽ちゃん



公立大学法人 沖縄県立看護大学
大学広報委員会マスコットキャラクター2023



製作者 / 4年次 当銘 穂佳さん

今回たくさんの方々に投票していただき、ありがとうございました。

わかば
「若羽ちゃん」が大学広報委員のメンバーとなって、大学を盛り
上げて みんなに愛されるキャラクターになれたら嬉しいです！

*「若羽ちゃん」は本委員会用のマスコットキャラクターであり、大学全体の公式キャラクターではありません。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
大学広報委員会 委員長 井上松代 および他委員一同より

2023年度 新任教員紹介

はじめまして！
4月に着任しました！

精神保健看護 教授
うり ぎき たか お
瓜崎 貴雄

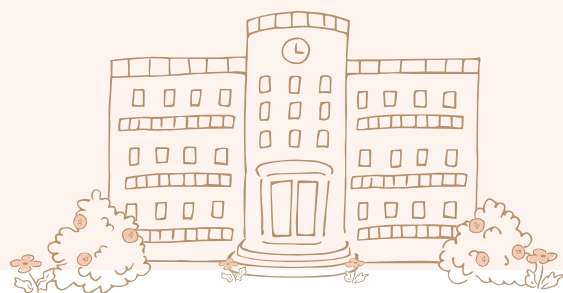
私が感じている本学の素敵なところの一つは、地域と連携した活動が活発に行われている点です。私も地域の皆様と一緒に、清掃、防犯パトロール、花壇づくりや、本の読み聞かせをする活動に参加させていただいています。このような活動を通して、人と出会い、関わることによって、こころが元気になることを体験し、こころの健康を保つうえで、他者と繋がる大切さを改めて実感しています。



こころは見えないのでむずかしく感じられるかもしれませんが、学生の皆様が身近な体験を通してこころの働きを捉えられるように、また、精神保健看護に関心をもってもらえるように教育を展開していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



本学の地域協働連携センター運営委員の地域貢献活動として、那覇市の与儀小学校区まちづくり協議会への活動に10年以上参加しています。活動内容は、11月のトックリキワタ祭りでの救護班と赤ちゃん抱っこ体験コーナーへの参加、通り会の清掃や花壇の花植え、防犯パトロールなどで、地域の住民や企業など関係者と交流を兼ねています。毎週火曜の早朝は、与儀小学校での読み聞かせにも参加し1・2年生から元気もらっています。令和5年度からは、那覇市地域包括支援センター古波蔵と関わりのある高齢者の方々との協働で、本学内の花壇の土づくりや花植えを行い、学内の美化のために汗を流しています。



学生の地域貢献活動



学生によるピアサポート（仲間同士の支え合い）として、近隣のA小学校等での活動があります。A小学校では、不登校傾向や同級生や大人とはなじみにくい生徒との交流・相談を行っています。生徒にとっては、大学生はお姉ちゃん・お兄ちゃんの世代になり、生徒達とのヨコの関係でもない、大人（教諭、保護者等）とのタテの関係でもない、ナナメの関係として、生徒にとってはなじみやすい関係性だと思います。

また、年に1回、A小学校6年生の保健委員との一緒に、本学の体育館で6年生全員が集まり、保健体育に関する合同の授業を行っています。近隣のB中学校では、生徒への宿題補助や相談、C小学校では、朝ご飯を食べて来られない生徒等へ、朝食（おにぎり等）支援にも参加しています。



のぞいてみよう! 看護大学

#1

看護大学ゼミナールI

科目担当教員の所感

看護大ゼミナールI(ゼミI)の目標は、地域活動を通じた自主的な学びです。活動先の施設との交渉がスムーズにいかなかったり、アイデアが行き詰まったり、一筋縄ではいかない課題に対して、チームで助け合いながら立派な成果を残しています。これから入学される学生さんにも、ゼミIの活動を通して、失敗を恐れず挑戦する姿勢を身に付けていただければと思います。今回は、昨年度のゼミI活動の中から、沖縄タイムスでも取り上げられた「ゴーヤーサーターアンダギー」制作について紹介します。

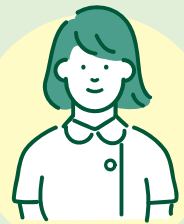
山口 賢一



学生の所感

私たちのチームは、看護大ゼミナールIの活動として、看護・保健指導の視点から捉える食育サポートを実施しました。具体的には識名小学校の4年生を対象に、嫌いな野菜のアンケートを実施しました。その結果、ゴーヤーが苦手な野菜の1位になりました。そのため、ゴーヤーの栄養素を美味しく摂取できるように、「食べたい!」と思うようなレシピ開発を行い、給食で提供することを考えました。琉球大学農学部へ依頼をし、ゴーヤーサーターアンダギーのレシピを開発し、小学校の給食にて提供を行いました。提供後のアンケートでは、また食べたいが90%を超える結果を得ることができました。他大学、他学部との協働はそれぞれの立場を理解して、共通の目的を達成する過程を学ぶことができ、大変有意義でした。

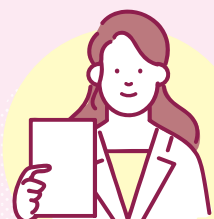
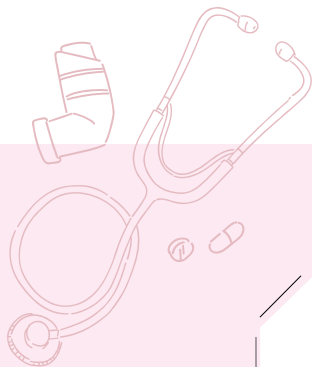
2年次 黎江 良枝





#2

小児保健看護



小児保健看護演習では気管支喘息で入院している4歳のこどもの事例を用いて、看護過程の展開を行います。学生たちは事例の動画を観て必要な情報を得たあと、教員がこどもと家族役を行うロールプレイのなかで、実際に患者さんから情報を収集する練習をします。看護技術に関しては気管支喘息のこどもへのバイタルサイン測定、口鼻腔吸引や吸入などの演習を行っています。演習最終日にはこれまで学んだ知識や技術を統合させ、模擬的な臨床場面のなかで看護を展開するシミュレーション演習を行います。シミュレーション演習終了後は、小児保健看護の教員が作成した動画を視聴し、学生たちの実践と比較することで学びを深める取り組みを行っています。

鈴木 三十子



こどものフィジカル
アセスメントに関する
演習の風景

教員作成動画の
スクリーンショット



国際交流



海外の人たちと積極的に交流し 視野を広げましょう

近年、看護の現場でも海外からの方に接する機会が増えており、私たちが日々外国語によるコミュニケーション力の向上に努め、これに適応する必要があります。本学では学部学生の国際交流のために、ハワイと台湾での研修プログラムを実施しています。現地の文化などに関する講義、病院見学、現地学生との交流活動がその内容です。コミュカの向上はもちろん、海外での体験を通して参加者の中に何か変化が起こることを期待しています。

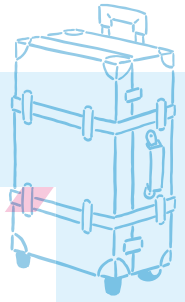
国際交流室運営委員会
佐伯 宣久

台北医学大学での研修プログラム2023に参加して

2023年3月に、引率教員として学生5人(1年次4人、2年次1人)と約2週間の台北医学大学での研修プログラムに参加しました。COVID-19の影響もあり、今回、大学として初めての台湾での研修プログラムに参加することができました。研修プログラムは、台北医学大学の教員による講義と施設見学から構成され、台湾の医療先端技術を活用した取り組みやグローバルを視野に入れた教育環境に触れることができました。参加した学生らも、異文化経験を通して、台湾の医療・看護事情を知ることができ、国内外の動向に関心を高めていました。また、研修プログラム中は、英語でのコミュニケーションや、プレゼンテーションを行う機会も多々あり、語学力の向上にも繋がっていました。

国際交流室運営委員会
木城 真理子





台湾研修に関するコメント

台湾研修では、大学で講義を聞いて施設に行き、実際に自分の目で見て体験することを通して現地の医療技術や医療制度の仕組みを知ることができました。さらに、そこから自分たちの住む日本や沖縄の医療との相違点を見つけ、お互いの良さや特徴は何なのか、普段なかなか比べることのできない部分に焦点をあてて学ぶことが出来ました。

また、台湾の大学生と外国語でコミュニケーションをとったり、一緒に夜市や観光地など様々な場所へ行って多くの人々と交流を深められたことで、異なる文化や価値観、現地の人々の温かさに直接触れることができ、自分の視野や世界が少しずつ広がっていくことを感じたとても楽しく有意義な2週間でした。

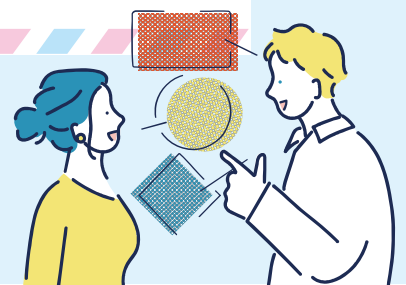
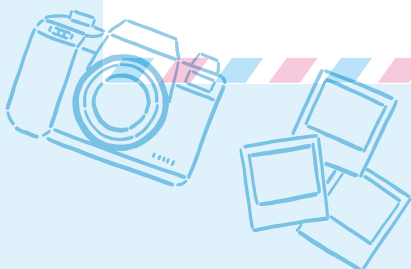
2年次 当真和嶺

台湾研修の感想

台湾研修に2週間参加して身についたことは、積極的に英語でコミュニケーションを取る姿勢と勢いです。交流の中で、台湾の方々の温かさに触れることができました。

研修中は平日は毎日大学へ行き、講義や施設見学に参加しました。講義をしてくれる教授や案内をしてくれる方とのコミュニケーションは全て英語で、最初のうちは内容を理解しようと必死で聞くだけでやっとでした。しかし、台湾の学生がとても親切にしてくれ、仲良くなることができました。放課後や週末に観光地に連れて行ってもらったり、一緒に遊んだりする中で、文法は分からなくてもとりあえず単語を使って話してみよう、という気持ちでコミュニケーションが取れました。積極的に人と関わることで、親切な方と仲良くなれ、充実した2週間を過ごすことができいい経験になりました。

2年次 山川華歩



OPEN オープンキャンパス CAMPUS

Welcome!



2023年度のオープンキャンパスは、
「来て、見て、体感しよう! 沖縄県立看護大学」
をテーマに7月15日に開催されました。2020年以降は
コロナ禍のためwebオープンキャンパスでしたが、本年度は
3年ぶりに実地で対面開催することができ、500名以上の方
に来校いただきました。来場いただいた方のアンケートでは、
「在学生から色々話を聞くことができて良かった」
「パンフレットではわからない学生や大学の雰囲気が良かった」
など、好評をいただくことができました。来年も7月に
実地開催の予定です。楽しみにお待ちしております!

大学広報委員会
栗原 幸子



私は「基礎看護」のブースに参加しました。これまでに学んだことを多くの方に体験してもらうことで看護に興味を持ってもらいたいと思い参加しました。人形で心音や呼吸音を聴く体験をしてもらい、音が聴こえる場所を教えたり、正常な音と異常がみられる音の違いを説明したりしました。はじめは緊張している様子でも音が聴こえた時に「すごい」と笑顔になっているのを見ると、喜んでもらえて良かったなと思いました。心音や呼吸音について説明した時も真剣に話を聞き、質問をしてくれる方もいたので興味を持ってもらっていると感じられて嬉しかったです。また、聴診器を使うなど、普段あまりできないことを体験してもらう良い機会になったと思います。



3年組
比嘉 莉々杏



「在校生とのフリートーク」では、大学受験に関すること、大学での勉強・看護実習、サークルのことや大学生の雰囲気まで、幅広く自由に話をすることができます。受験を控え不安そうな様子も見られましたが、在校生からアドバイスをもらえるいい機会でもあると思います。気になったことを気軽に質問してみてください。「キャンパスツアー」では、在校生がガイドとなって大学構内をめぐるとのプログラムです。高校までとは違った大きな講義室や多くのベッドが並んだ演習室などを見ることができます。在校生と話したり、大学構内を回ったりすることで、モチベーションが上がり、さらに興味をもって大学生活が楽しそうだと感じてもらえたらうれしいです。

3年生 長堂 嘉輝



看大祭



9月23,24日に「Enjoy "Kandaisai" while OPCN hold it.~看大祭のある限り、それを楽しむのだ~」をテーマに看大祭が開催されました。実に4年ぶりの開催となり、ノウハウが途絶え、まさに手探りの状態で準備を進めなければなりませんでしたが、そのような中でもサークルの出店や外部の吹奏楽演奏、jazz演奏などあり盛り上がりを見せました。今回の開催では以前までにあったお化け屋敷や学生のバンド演奏、後夜祭など断念しており、本来はまだまだ盛りあがっていきけるはずだと考えています。来年度以降の看大祭はこれから入学する新入生も交えてさらなる盛り上がりを見せることを期待しています。

看大祭 実行委員長
3年次 仲井 拓也



4年ぶりの看大祭開催に向けて、学生会と実行委員が中心となり出店を行う学生や地域の方々、そして来場者の方々に看大祭を楽しんでもらえるよう環境づくりに努めました。来てくれた子どもたちから「楽しかった！また来年も遊びに来るね！」の声がかれた時は、開催できて本当に良かったと嬉しく思いました。開催日までの準備期間は不安なことも多くありましたが、学務課をはじめ多くの方々に支えていただき無事開催することができました。また卒業生も応援に駆けつけてくださり、準備や片付けを夜遅くまで手伝ってくれました。ご来場くださったみなさま、そして今回の看大祭を開催するにあたり、ご協力してくださったみなさま、本当にありがとうございました。

学生会 3年次
総務 美佐



学生の活動

#1 サークル活動

アジア保健医療研究会 タイでの海外研修

こんにちは!アジ保(アジア保健医療研究会)です!
今年コロナによる規制が落ち着いてきたため海外研修を再開しようと思い、タイ研修を企画しました。実は、タイはLGBTQに対する考えや整備が進んでいるんです。そのため、今回は美容整形・性別適合手術で世界的に有名なヤンヒー国際病院にて1日見学を行なってきました。病院の先生の講義では、整形・性別適合手術をする患者さんの思いや手術の仕方を教えていただきました。見学では、ホテルのような綺麗な病室や創傷治癒促進のための酸素カプセル、胸やお尻に入れるシリコンを実際に見てきました。また、カルテや検査結果を渡すために病院内の各部署を回るメッセンジャーガールは、フィギュアスケートのような服装とローラースケートを身につけており、日本の病院では見られない光景に目が釘付けでした。病院見学の他にもタイ観光もでき、充実した研修でした。

アジア保健医療研究会
3年次 西本 有希



学生の活動

#2

課外活動

LINKtopos

LINKtoposとは、全国の公立大学生と街歩きやワークショップ、ポスター発表などを通して交流するイベントです。2023年度は本学3年次の先輩が運営代表となり、沖縄で開催されました。今回、私は初めてLINKtoposに参加し、学生自身が地域の問題を見つけ取り上げ、仲間・学生同士サークルや団体を設立して、学生主体で、問題解決や地域活性化に取り組む姿に、同じ学生として感銘を受けました。学んでいる分野や在籍する学部、年齢や出身地の異なる大学生と交流ができ、同じ学生が町興しをしている姿に感化され、私も、地域の方々が必要としている人材になれるように、学生のうちから視野を広げ、活動の幅を広げていきたいと思いました。

2年次 喜舎場 彩音



LINKtopos2023 in Okinawa

LINKtoposは公立大学の学生が一年に一度集まり、各地域での取り組みについて交流したり、課題についてみんなで考えるイベントです。

日時：2023年9月	会場：
4日(月) 14:00~18:30	4日(月) 沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス
5日(火) 9:45~17:00	5日(火) 沖縄県立看護大学
6日(水) 9:30~13:00	6日(水) 沖縄県立看護大学

参加対象：
全国の公立大学に在籍している学生
特に地域貢献活動をしている人、興味がある人

昨年は北は岩手から、南は沖縄まで23大学111名が集結！

参加申し込み方法や締め切り期限はこちらで確認！

LINKtopos HP

お問い合わせはこちら！
公立大学ネットワーク LINKtopos2023運営チーム
メール: linktopos2023@gmail.com

今年のテーマ 彩(いろいろ)

①彩をつくる
沖縄での学びや経験を通して自分の成長につなげよう

②彩に気づく
全国から集まる仲間たちと交流・協力して、自分や他の人の個性や強みに気づき、高めあおう

③彩を考える
各地域の活動について知り、自分たちの地域をよりよくできることについて考えよう

今大会ではこんなことやろう！

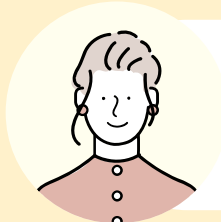
まちあるき
首里城近辺を散策し、オキナワの文化を肌で学ぼう

アイスブレイク/フリートーク
全国の公立大学の仲間と交流しよう！

ワークショップ
3つのテーマの中から興味のあるものを選択

- ①戦争・平和
- ②教育
- ③文化・伝統芸能

ポスターセッション
全国の地域の取り組みについて知ろう！



LINKtoposは、異なる大学、異なる分野、異なる学年の大学生と交流できる機会です。本学では、このような経験ができる機会は少なく、参加した学生たちは有意義な時間を過ごし、たくさんの刺激を受けているようです。

支援教員 山川 和歌子

行事予定 寄付者一覧

2024年度（令和6年度）行事予定

2024 4月	入学式 前学期授業開始	11月	特別選抜入試(看護学部)
5月	開学記念日(5月15日)	12月	学習成果発表会(看護学部4年次) 一般選抜入試(別科助産専攻) 冬季休業
7月	オープンキャンパス	2025 1月	大学入学共通テスト
8月	夏季休業 ハワイ研修	2月	一般選抜入試(看護学部) 看護師・助産師・保健師国家試験
9月	看大祭(夏季休業のうち2日間)	3月	卒業式・修了式 春季休業
10月	後学期授業開始 大学院入試 特別選抜入試(別科助産専攻)		

修学支援給付金事業寄付のご案内

沖縄県立看護大学では、島しょやへき地であっても、そこに住む人々が最善の健康を増進、維持、回復できるように自立した看護職者の育成に取り組んでおります。この度、特に経済的理由により学生生活の継続に困難がある学生が安心して学修に専念できるよう、皆さまからのご寄附や会費により「修学支援給付金事業」を実施していくこととしております。つきましては、本学の趣旨にご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願いいたします。

お問い合わせ先

総務課寄付担当者 TEL 098-833-8800



ご寄付いただいた方・団体

現在までの実績：学内教職員19名 外部10名 法人2件 合計1,331,499円（2023年10月1日時点）

個人 大城肇 様 他

団体 公益社団法人沖縄県看護協会 様 社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 様 他

※掲載にご了承いただいた方のみ記載 ※掲載はご寄付先着順

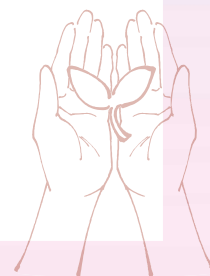
県立看護大学修学支援給付金事業の支援内容

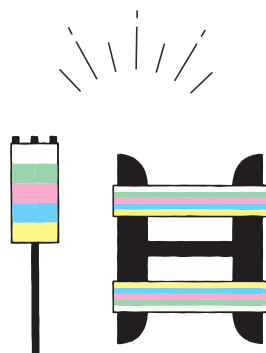
- (1) 入学料又は授業料の免除及びその他学生の経済的負担の軽減を図るもの
- (2) 学資を貸与し、又は給付するもの
- (3) 教育研究上の必要があると認めた学生による海外への留学に係る費用を負担するもの
- (4) 大学で定めるところにより、学生の資質を向上させることを主たる目的として、学生を教育研究に係る業務に雇用するために係る経費を負担するもの

寄付金活用による活動報告 ※2023年12月末時点

沖縄県立看護大学修学支援奨学金：支給人数 14名 合計 42万円

経済的理由により進学が困難な者に対して、入学時に要する経費の一部に相当する返還の必要のない給付奨学金を支給する。(1人3万円)





かせかけ

総(かせ)とは紡いだ糸を巻く道具。この道具を使って織物用の糸を巻いていく様子を「かせかけ」といいます。愛する人を想って糸を巻く、そのような情景を描いた踊りは琉球古典舞踊、「七踊り」の一つにも数えられています。大切な想いを丹念に紡ぎ、そして形にしていく「かせかけ」のテーマは、学びを重ねながら成長する学生たちの大学生活にも通ずる部分がありそうです。広報誌「かせかけ」ではそのような学びの一コマ一コマを取り上げてお伝えします。



公立大学法人

沖縄県立看護大学 広報誌

Okinawa Prefectural College of Nursing

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

TEL (098) 833-8800(代表) FAX (098) 833-5133

<https://www.okinawa-nurs.ac.jp/>

編集：沖縄県立看護大学/大学広報委員会 発行：2024年3月